



# マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

5月号 MAY 2018

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



上段左 4月17日 前橋市圃場 上段右4月19日 熊本市圃場 下段 4月19日 唐津市圃場

## 府県産玉葱はサイズにばらつき出るか

今年の4月は「季節外れの気温」「夏日」という言葉がメディアをにぎわせました。実際、4月は非常に暑い日が多かったようです。夏日とは気温が25℃以上になる日を言うのですが、各地で4月として、夏日を記録した日数が過去最多となっているそうです。GWに入ってから暑い日が続いており、30度を超える真夏日となる日もありそうです。

玉葱の生育も府県産では最終盤となってきました。各地で中晩生種が肥大期に入ってきています。ここまでの生育としては、定植から2月頃までが低温。その後各地気候が安定してきて4月末時点では九州地方については1週間～10日の遅れ、関東では5日～1週間遅れという状況でした。我々もここ1カ月圃場を巡回していますが、ぐっと大きくなってきた感じがあります。それでもやはり生育の遅れが取り戻せていないように思います。更にここにきての高温があまり玉葱には宜しくありません。病気の発生もリスクが高まりますが、温度が高すぎると玉葱は生育をストップさせてしまいます。25℃以上になるとその傾向が強まります。現在の気候条件は注意が必要であり、我々も各産地と連携して最新情報を常にお伝えできるように進めて参ります。

4月も随時弊社契約産地様を訪問して状況の確認を行っております。4月17日には前橋市にて圃場巡回を実施しました。3月24日には過去例がない雹が降っており、そのダメージが葉に出ています。ここまでの生育は干ばつ、低温から遅れ、3月以降回復してきた矢先に雹害。過去に例がないためどの程度の影響があるかはわかりません。また、九州の契約圃場では熊本、唐津とも遅れの傾向です。中晩生はここからの気候となりますが、あまり暑くなりすぎずに推移してくればよいと思います。

今期弊社では府県産時期にて地域を分散して10産地での契約取組を実施致します。状況としては各産地天候要件が異なり、非常に順調な産地、平年並みの産地、遅れの産地とバラツキがあります。いよいよ今月末から本格的に府県産玉葱入荷がスタートとなりますが、各産地順調な収穫となるように期待しています。

# “食”の分野で役立つマーケティング情報

最近また歴史に興味を持つようになり、本やテレビで歴史を楽しんでいます。きっかけは、歴史学者の磯田道史(いそだ みちふみ)氏の『日本史の内幕』(中公新書)という本を友人に勧められて読んだことです。この本は“古文書”から日本の歴史に迫ろうとするものです。磯田氏は言います「日本史の内幕を知りたい。そう思うなら、古文書を読むしかない」、「まず、古文書、一次資料でおさえる。歴史の現場で残された遺留品＝古文書から、歴史の内幕をみて、そこから物事を考えることにしたい」。歴史への取り組みについてのこれらの言葉はとても新鮮で心に残りました。

それが趣味や遊びであったとしても、学んだことは自分の仕事にあてはめて考えると、役に立つことが多くあります。“古文書という一次資料”は正に自分の仕事で言うところの“現場”を意味します。私もつつい情報を検索してしまい、現場に自ら足を運ばないでわかったような気がしていることも多く、反省することがあります。

岡山に『もんげーバナナ』という名前のバナナがあります。無農薬で皮ごと食べられ、箱入り3本でなんと4,860円！しかしこれが売り切れ続出の人気商品。農業経験ゼロの男性が約40年の研究の末、苗に「氷河期を体験させる」というユニークな手法を開発して、岡山で栽培されています。これもこれまでの知識から判断せずに、自ら実験を繰り返すという一次情報の蓄積によって栽培までたどりつけたのだと思います。

「売らないこと」で売れるようになったという婦人服のお店が和歌山にあります。ここで言う「売らない」とは売らないことを前提にお客様を变身させることにあります。このお店の主人はお客様の女性に合う新しい服を進めても、自分にはこんな色、デザインはとてもとほとんどの人が逃げ腰で試着すらしようとしなかったそうです。そこでこう決めたそうです。売らないことを前提に、とにかく大胆な变身を勧める。お客さんにも明確にそのことを伝えたそうです。すると彼女たちは、あまりにも大胆に、そして綺麗に变身した自分を見て、次々とその服を買っていくようになったそうです。このエピソードも、現場での一次情報の大切さを教えてくれます。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組んでいる。

<http://www.kino-company.com>

## 営業課長中村のマルチ便PLUS！Ver2018

5月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	北海道産、終盤となります。品質も良好で、5月末か6月上旬まで使用予定です。サラダでのご使用のお客様につきましては可能な限り早く府県産地へ切替できるように組み立てしております。府県産の状況ですが、エリアにより状況異なりますが「1週間～10日ほどの生育遅れ」が発生しています。そのため、小玉傾向の産地もあり、平均すると平年作の見込です。
中国	雲南省産を使用しております。品質良好です。前産地の甘粛省産が終盤で溢れ気味であったため、後続産地である雲南まで影響し相場が下がっております。この状況はしばらく続くと思われませんが、いずれにせよ指定工場から契約仕入をし、安定供給いたします。
NZ(黄玉) オースト(赤玉)	NZ産黄玉葱、品質は良好です。干ばつの影響か、一部の玉葱に傷みも見られますが、今季の不作状況から考えると良品が届いております。オースト産の赤玉葱も品質良好です。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315